



カケハシ・プロジェクト（招へいプログラム） （アメリカ、日系人招へい第3陣）の記録

1. プログラム概要

対日理解促進交流プログラム「カケハシ・プロジェクト」として、米国より日系米国人の大学生及び社会人73名が、2017年3月14日～21日の7泊8日の日程で来日し、日本の政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等などの対日理解促進を目的としたプログラムに参加しました。省庁講義、歴史的建造物視察、学校交流、ファームステイ等を通じて幅広く日本を理解する機会を持ち、各々の関心事項や体験についてSNSを通じて对外発信を行いました。また、報告会では訪日経験を生かした、帰国後のアクションプラン（活動計画）について発表しました。

【参加国・人数】

アメリカ 73名

【訪問地】

東京都、千葉県（グループA／B）、広島県（グループC）

2. 日程

3月14日（火） 成田国際空港より入国

3月15日（水） 【オリエンテーション】

【講義】外務省北米局「日本の外交政策」

【歴史・文化】海外移住資料館

3月16日（木）～3月19日（日）

2グループに分かれ、グループA／Bは千葉県、グループCは広島県を訪問
地方プログラム終了後、各グループは東京へ移動

（1）グループA／B：千葉県

3月16日（木） 【都内視察】お台場

千葉県へ移動

【最先端技術】海ほたる

【表敬訪問】鴨川市

3月17日（金） 【学校交流】城西国際大学

【ファームステイ】対面式

3月18日（土） 【環境/講義】棚田倶楽部

【環境/自然】大山千枚田散策

【文化体験】太巻き祭り寿司づくり体験

【文化体験】わら細工体験

【ファームステイ】

3月19日（日） 【ファームステイ】歓送会

【伝統文化】和太鼓演奏見学

【地域産業】みんなみの里

東京都へ移動

【ワークショップ】

(2) グループC : 広島県

- 3月16日(木) 広島県へ移動
【歴史】被爆体験講話
【歴史的建造物】原爆ドーム、広島平和記念資料館、平和記念公園
- 3月17日(金) 【歴史的建造物】宮島、厳島神社
【学校交流】県立広島大学
- 3月18日(土) 【歴史的建造物】広島城
【ホームステイ】安芸太田町
- 3月19日(日) 【ホームステイ】歓送会
【ワークショップ】
- 3月20日(月) (グループA/B)
【歴史・伝統文化】江戸東京博物館
【歴史的建造物】浅草寺(グループA/B)
(グループC)
東京都へ移動
【都内視察】お台場
(全グループ)
【報告会】
- 3月21日(火) 【歴史的建造物】明治神宮
成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

東京都

	
3/15【オリエンテーション】(東京都)	3/15【歴史・文化】海外移住資料館 (東京都)
	
3/20【報告会】(東京都)	

地方プログラム

グループA/B：千葉県



3/16【表敬訪問】鴨川市（鴨川市）



3/17【学校交流】城西国際大学



3/18【環境/自然】大山千枚田散策（鴨川市）



3/18【文化体験】太巻き祭り寿司づくり体験（鴨川市）



3/18【文化体験】わら細工体験（鴨川市）



3/19【ファームステイ】歓送会（鴨川市）

広島県（Cグループ）



3/16【歴史的建造物】平和記念公園（広島市）



3/17【学校交流】県立広島大学（広島市）

	
3/17【歴史的建造物】宮島、厳島神社（廿日市市）	3/17【歴史的建造物】広島城（広島市）
	
3/18【ホームステイ】（安芸太田町）	3/19【ワークショップ】（広島市）

4. 参加者の感想

◆ アメリカ大学生

最も印象に残った講義は、海外移住資料館で行われた日系人の定義についての講義です。日系としての自己のアイデンティティーについて、またアメリカでどのようにその文化を広めていけるのかについて考えさせられました。学校交流は新鮮な体験で、同世代の学生の生活を知る良い機会でした。日本文化の伝統的な部分である書道や茶道を学ぶことができて楽しかったです。日本側から見た日米関係の歴史についての外務省の講義は、アメリカで語られていることとは異なるもので、興味深く話を聞きました。ホームステイは素晴らしい経験の一つで、日本の田舎の生活を知ることができました。ホストファミリーは、とても親切で、日本人の持つもてなしの精神を鴨川で知ることができました。

◆ アメリカ大学生

日系人についての講義は、人種の混ざった人間にとって強い印象を与えるものでした。私はしばしば自分がよそ者であると感じることがありましたが、私には所属する場所があるのだと思うことができました。外交についての講義は興味深いものでしたが、更に沖縄の基地問題や慰安婦問題など、今話題になっていることについても触れてほしかったです。ホームステイは今回のプログラムの中で、最も印象深いものです。田舎に滞在して、築200年の古い家で日本人家族から日本語を習い、とても楽しい時間を過ごしました。その地の文化に自分を馴染ますことで、多くのことを学ぶことができました。もうすでにおばあちゃん、おじいちゃんにまた会いたいと思っています。

◆ アメリカ大学生

講義を受けたことは、プログラムの中で最も素晴らしい経験だったと感じています。それは今まで真剣に考えたり、経験することがなかった内容でした。日本が国際的な同盟関係を総じて重要視しているということがわかり、興味深かったです。また、広島で被爆者の体験談を聞くことができ良かったです。講義や講話により、新しい視点を持つことができました。これらの経験を故郷のテネシーで、そして今後いろいろな場所で、多くの人々に共有していきたいと思います。

5. 受入れ側の感想

◆ 学校交流先 大学

本学からの参加者には、来年度から留学する学生、さらに、留学に行きたかったけれども経済的な理由から諦めた学生も多く参加していましたので、彼らにとっては生きた英語に触れる良い機会となりました。また、本学部は将来観光産業に従事したい学生が多いので、英語のみならず、日頃机上で勉強している「おもてなし」を実践する良い機会となりました。学生には大いに刺激になったようです。ありがとうございました。

◆ 学校交流先 学生

今回のような国際交流イベントは、長期留学を断念した私にとって貴重な学びの機会となっています。特に英語については、実践的な場で気づくことが多くあります。今回訪日団が点呼の際、「here」と答えていたことに驚きました。英語の授業では「yes」としか習わなかったので、このような細かいことは実際に英語で会話、そして生活しなければ学ぶことができないことだと思います。日本にいては学べないことを学ぶことができた貴重な機会となりました。

6. 参加者の対外発信

 John Tobe added 19 new photos. March 15 · 🌐 #Jaclakehashi Yesterday, we learned what it means to be Nikkeijin at the #japaneseoverseasmigrationmuseum Japanese diaspora is worldwide! #akehashi2016 #akehashiproject	 Ruthie Shimomura March 18 The March, 2017 JACL Kakehashi students visited the Prefectural University of Hiroshima today!
視察先についての発信 昨日は日系人について、海外移住資料館で学びました。	学校交流についての発信 県立広島大学を訪れています！

 Ruthie Shimomura March 17 David Kawamoto's JACL Kakehashi Group C is visiting the Hiroshima Peace Park today. 	  Karissa Yamaguchi (@iil.yamaguchi) "Live with a heart of love" ~ advice from atomic bomb survivor Sadai Saoka on how to prevent future incidences of war, pain and suffering. #kakehashi2016 #usa #jaci
視察先についての発信 グループCは広島平和記念公園を訪れています。	講義についての発信 「愛と共に生きる」どのように未来の戦争、それによる痛みや苦しみを防いでいくのかを表した、被爆者からの言葉です。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

ACTION PLAN Why? When? Who? • Presentations to family, friends, colleagues • <u>Kakehashi reunions</u> • JACL recruitment/retention • Kids camp, teaching, educating diverse communities • Articles, panels, videos • Political mobilization, voter registration	HOW / WHAT • Spread awareness through social media platforms • Facebook group to keep participants connected and up to date • Quarterly check-ins on actions in respective communities • One-year reunion to solidify and grow community back home
アクション・プランの発表（グループA） ・ 家族や友人、同僚に伝える ・ カケハシ同窓会の開催 ・ JACL における人材の採用 ・ 各コミュニティにおける子供への教育 ・ 記事、動画の発信 ・ 政治的な活動	アクション・プランの発表2（グループB） ・ SNS を通しての気づきを発信 ① Facebook グループを作成し、参加者同士の繋がりを深める ② 四半期ごとに参加者の活動をチェックする ・ 1 年後に同窓会を開催
HOW ● Through stories/experiences ○ Blogs/Social Media ○ In classes ○ Person to person ○ Organizations	アクション・プランの発表3（グループC） ・ 体験や気づきを発信 ① ブログや SNS ② 授業 ③ 個人 ④ 組織